

2026年度
短期留学成果報告書

専攻 (楽器等名)	留学先	期間
ピアノ	エコールノルマル音楽院(フランス)	9日間

1. 実施概要(具体的に)

フランス・パリで7月4日から8日にエコール・ノルマル音楽院にて開催されたAcadémie de Musique Française pour Pianoに参加した。アカデミーはフランス音楽に特化した高度な研修であり、世界各国から選抜されたピアニストが集い、集中的に研鑽を積む貴重な機会である。著名な教授陣によるレッスンが5回に加え、公開マスタークラスの聴講、修了演奏会への出演を通して多角的な視点からフランス音楽への理解を深める機会が用意された。

2. 留学を通じて自身が得た成果

フランスでは複数の教授からフランス作品に対する多様な解釈や表現について学び、作品への理解をより深めることができた。また、世界各国から集まった受講生の演奏に触れることで、多くの刺激を受けるとともに、自身の課題を改めて認識する貴重な機会となった。語学力には不安があったものの、音を聴き取り音楽的な意図を理解する力には自信があったため、レッスンで大きな苦勞を感じることはなかった。通訳がなくても指導内容を理解できる場面が多く、自分の音楽的な理解力への大きな自信にもつながった。慣れない環境の中で、交通機関の利用や日常生活、スケジュール管理などを自ら考えて行動したことで、自立心や対応力が養われた。また、言語や文化の違いに戸惑う場面もあったが、その都度工夫しながら乗り越えた経験は、自身の成長と自信につながる大変貴重な経験となった。

3. 反省点

事前に情報収集はしていたものの、滞在中のフランスは熱波に見舞われ、急激な気温の変化や暑さの影響により体調を崩してしまった。気候やエアコンの普及状況は国によって大きく異なるため、現地の生活環境についてさらに詳しく調べ、十分な暑さ対策をしておくべきだったと反省した。また、語学力に課題を感じる場面もあったが、周囲の方々に支えていただき、乗り越えることができた。今後は語学力をさらに向上させ、教授や各国の参加者により積極的に交流することで、学びを一層深めていきたい。

持ち物に関して、持って行ってよかった持ち物は足の浮腫対策グッズ(長時間のフライトや徒歩移動が多く、疲労軽減に役立った)、サングラス・ハンディファン(滞在中はフランスが熱波に見舞われ日差しが非常に強かったためとても役立った)、虫刺されの薬(就寝の時間も暑さ対策として窓を開けていたので蚊に刺されてしまうことが多く、とても役立った)。事前学習については、治安の悪い地区を調べておくのが良いと感じた。地下鉄も比較的安全な路線と、混雑が多く注意が必要な路線があり、また観光地から少し離れると治安が悪い地域もある等、予測が出来ていない事もあった。